

武蔵工業大学後援会誌[マイコム]

M/COM

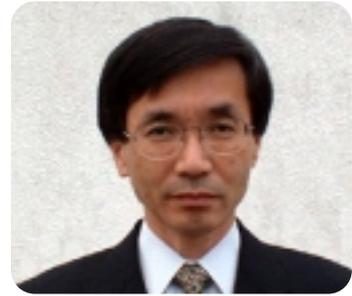
no. 31 2005.1

- 後援会副会長挨拶……………p1
- 平成16年度 「大学と父母との連絡会」取材レポート……………p2
- 平成16年度 就職動向と支援……………p5
- キャンパス Spot 11……………p7
- クラブ活動紹介 22……………p9
- Campus Topics……………p13
- 平成16年度 「大学と父母との連絡会」実施結果……………p15

写真：創立75周年記念式典



後援会副会長挨拶



武蔵工業大学後援会副会長
千田 哲也

逡巡し躊躇する技術者

大学というところに、高校までの教育とは少し違う雰囲気があるのは、
内容が専門化されるだけでなく、
卒業論文に代表されるような研究の要素が加わるがあります。
研究は、すでにわかっていることを教えられるのではなく、
正解が与えられていない未知の世界に踏み込むものです。
自分で問題をたて、文献を調べ、実験し、考え抜いて結論を導く、という一連の作業は、
教科書を学び、演習問題を解いて正解だとマルがもらえるというものとは、根本的に異なるところがあります。
そうした環境にとまどいを感じるかもしれませんが、これは大学教育のとても大切な点なのです。
20世紀は科学技術の世紀ともいわれ、より速く、より便利にといった目標に向かって突き進んだ時代です。
その結果、われわれの生活はたいへん便利に、また快適になりましたが、
一方で環境の悪化、資源の枯渇、経済的不平等の拡大などの重大な課題を21世紀に持ち越しました。
21世紀は、何かの目標に向かって一直線に突き進むことができない時代です。
つまり、いろいろな価値観があるなかで、誰もが納得する正解を見つけにくい時代なのです。
21世紀の技術者は、目的とする利便性とその結果として生じるかもしれない悪影響に思いを巡らすなかで、
逡巡し躊躇しながら技術開発に取り組むことになるのでしょう。
正解が見通せない時代にあって、相反する問題に挟まれつつ研究や開発を進めようとするとき、
手がかりになるのは広い知識と柔軟な思考であり、専門や立場の異なる人の意見です。
異分野で活躍する友との交流は、ときに有益な情報や異なる視点をもたらしてくれます。
学生時代の友人とは、困ったときに利害を超えて助け合うことができるものです。
そうした人間関係を育むために、大学における課外活動はとても重要です。
後援会がそうした活動のお役に立てればと思っております。

※ ※  平成16年度「大学と父母との連絡会」取材レポート  ※ ※



※ 世田谷キャンパスの全体説明会

武蔵工大および後援会の恒例行事である「大学と父母との連絡会」。今年も全国各地の会場に、たくさんのご父母を招いて開催されました。

最終日にあたる9月25日は、世田谷キャンパス(工学部)と横浜キャンパス(環境情報学部)で、東京・横浜地区の連絡会が行われ、そのフィナーレを飾りました。

教育熱心なご父母の真剣な表情や皆さんの感想を交え、当日の様をお伝えします。



※ 相模後援会長



※ 中村英夫学長

キャンパスの環境や施設、教育方針や就職動向など ご父母の関心事を明確に

大学生のお子さんをもつご父母にとって、彼らのキャンパスライフを知ることは容易ではありません。授業の課題やアルバイトで多忙をきわめ、仲間とのつきあいも欠かさない大学生ともなると、両親に自分の学校生活を逐一報告するなどという余裕は皆無。「うちの子、学校でちゃんと勉強しているのかしら……」などとご心配されるご父母の方々も少なくないのではないでしょうか。

武蔵工大では、毎年「大学と父母との連絡会」という行事

を開催しています。学生のご父母をキャンパスに招き、日頃学生たちがどのように学び、大学生活を送っているのかをご理解いただくのがその目的です。今年も7月17日の沖縄を皮切りに、全国26会場において開催されました。

最終日となる9月25日、世田谷キャンパスと横浜キャンパスでは、それぞれ東京・横浜地区の連絡会が開催されました。東京、神奈川、千葉、埼玉を中心に、世田谷キャンパス413世帯、横浜キャンパスには163世帯の皆さんが参加されました。

※ 参加されたご父母の方々の感想

世田谷 キャンパス

※ 関上 美香さん(機械1年)のお母さん



入学したばかりなのですが、今回参加して、どんなところで勉強やサークル活動をしているのかよく分かりました。

※ 櫻井 清之君(電子情報3年)のご両親



大学がいかに学ぶ環境に気を遣っているかが分かりました。3年なので就職指導について詳しく教えていただきました。

※ 深井 剛君(電気電子2年)のお母さん



緑が多くていい環境ですね。学生食堂もきれいで、栄養のバランスが考えられており美味しかったので安心しました。

横浜 キャンパス

※ 岡野 和義君(環境情報2年)のお母さん



学内の雰囲気がとてもよくて、ここなら時間をかけて通学するだけの価値があると納得しました。

※ 鎌田 雄介君(環境情報2年)のお父さん



学生が自主的に行動しているのが感じられました。廊下や教室にゴミがなく、キャンパスがきれいなのに感心しました。

※ 岩崎航君(情報メディア1年)のお父さん



施設が新しくきれいなのでびっくりしました。先生方とのコミュニケーションを育むことができたので良かったです。



※ いつも学生たちが利用している学生食堂の味を試食していただいた(両キャンパス)

※ 学生食堂での昼食風景(世田谷)



※ 学科、学年別の懇談会風景(世田谷)



※ 吹奏楽団の演奏(世田谷)

世田谷キャンパスでは、予定の11時30分より20分早く受付を開始。まずはサクラセンター内の学生食堂にて昼食を試食していただきました。昨年リニューアルされた学生食堂・CANTEEN RARAは明るくシックな雰囲気。栄養のバランスを配慮されたメニューに、ご父母もひと安心の様子でした。

アリーナで吹奏楽団の課外活動を見学した後、1時よりいよいよ全体説明会のはじまりです。学長、工学部長、後援会長のお話にご父母の表情もきりりと引き締まり、教育に対する真摯な気持ちが伝わってきます。この9月より学長に就任した中村英夫学長の挨拶

では「本学は教育熱心な教授陣・スタッフが、学生たちに立派な知識、人格をもって社会に巣立ってもらいたいと努力している。多くの卒業生の活躍が評価され、就職面でもその効果が現れている。今後は、専門分野だけでなく、社会的に広く本学の魅力をアピールしていきたい」という力強いメッセージがあり、ご父母は真剣に聞き入っている様子でした。

2時から、各教室において学科・学年別の懇談会を実施。主任教授が学科の動向について、また就職担当教員が就職関係事項の説明を行いました。特に最近の就職状況についての説明には、多くのご父母が熱心にメモを取られ、その関心の高さがうかがわれました。また、希望者には個人面談の時間を設け、担当教員らと熱心に話し込む光景も見られました。



※ 全体説明会(横浜)



※ 受付開始前から多くのご父母が集まった(横浜)

※ 真嶋 泰之君(機械4年)のお母さん



就職について情報が得られて良かった。卒業生の話しなどを聞く機会を作っていたら、もっと充実する気がします。

※ 成田 征次朗君(機械4年)のお母さん



毎年参加しています。子供が大学院に進学するので、担当の先生に質問したところ、親切に対応して下さいました。

※ 田中 康範君(電子情報4年)のお父さん



サクラセンターがリニューアルして、図書館などももうすくきれいになるとのこと。施設が充実しているのがいいですね。

※ 土屋 翔君(電子通信1年)のお父さん



学科別ガイダンスで、学科についての詳しいお話を聞くことができました。就職状況についてもその動向が分かりました。

※ 三浦 千住さん(環境情報2年)のお父さん



廊下を歩いていると照明が点いたり消えたりするのは、環境情報学部らしい感じ。施設は本当に充実していますね。

※ 市川 誠之君(環境情報1年)のお父さん



大学へは学園祭で何度か来たことがあるのですが、やはり普段の様子を知るためにはこういった行事の方がいいですね。

※ 石川 遼君(環境情報1年)のお母さん



説明会では普段授業を担当されている先生の声も聞きたかった。学生が先生と接点を作る環境があることが分かりました。

※ 嶋村 威臣君(情報メディア1年)のお母さん



広いキャンパス内は掃除が行き届いていて快適ですね。自由に学べる雰囲気は、子供にとって理想的だと思いました。



※音楽サークル・PLAMの演奏（横浜）



※学科・学年別懇談会（横浜）



横浜キャンパスは、10時に受付開始、10時30分より全体説明会がスタートしました。学長、環境情報学部長、後援会長、教務委員長、就職担当教員の順に挨拶がありました。環境情報学部という学部について、わかりやすく丁寧な説明があり、その明確なビジョンについてのお話にご満足いただけた様子です。

11時30分より自由見学。学生食堂で昼食の試食をしたり、自然との共生をテーマにしたエコキャンパス内を自由に見学していただきました。音楽サークルPLAMの課外活動見学を楽しんだ後は、懇談会場へと移動し、学科・学年別懇談会がスタート。最新の情

報処理機器を設置したメディアセンターをはじめ、多くの充実した施設に囲まれた同学部では、どのような教育が実施され、学生たちは何を学んでいるのか。また、就職の動向はどういう状況なのか？などといった疑問に対して詳細な説明がされるにつれて、皆さんの間に安堵の表情が見受けられました。

東京・横浜地区の「大学と父母との連絡会」は、ご父母同士の交流が深まったこともあり、和やかな余韻を残してその幕を閉じました。キャンパス見学や学校関係者たちの説明は、ご父母が学生たちのキャンパスライフを理解することの一助となったのではないのでしょうか。今回はご都合が悪かったという皆さん、来年はぜひご参加下さい。お待ちしております！

大学会場以外にも全国24会場で実施

東京・横浜地区以外にも、全国24会場で父母との連絡会が開催されました。ここでは高崎会場の様子をお伝えします。

※高崎会場

武蔵工大のサポート体制は万全

世田谷キャンパス入試課 渡辺光洋

「武蔵工大はサポート体制が良いですね。」これは会の中で、ある父母の方から頂いた言葉です。大学に身を置くものとして、とても嬉しい限りです。この連絡会を通じ、遠方にいらっしゃる父母の方々の大学に関する関心事や疑問などにお答えすることで、多くの情報交換が得られ、またご理解を深めていただくことが出来ました。

当日9月12日曜日の天候は晴れ。高崎駅に隣接した「ホテルメトロポリタン高崎」を会場として、9世帯12名のご父母の方が出席されました。後援会からは群馬県の評議員である川本様、岡野様にご出席いただき、総勢14名での約2時間半にわたる会の進行となりました。

大学側からは環境情報学部長の高田教授が、プロジェクターで投影した写真や資料を元に大学の概況やキャンパスライフ等についての説明を行いました。短い時間ではありましたが、同教授による大学での講義の再現も行われ、ご子女のキャンパス内での活動状況をより深くご理解頂く一助になったのではないのでしょうか。その後は、ご父母の方々に関心の高い「成績」「就職」について、実際の成績通知書や資料をご覧いただきながら説明いたしました。

懇親形式での質疑応答の時間では、「交友関係」や「実際の生活状況」、「単位の取得」、「大手企業への就職を考えた進路」など具体的な悩みやご質問・ご意見についてお答えしました。最終的には当初の終了予定を大幅にオーバーしての閉会となり、相互に大変有意義な時間を共有することが出来たと思います。この会を通じて得られた貴重な情報が、学生生活、ひいては武蔵工業大学の未来に反映していければ、と考える次第です。

参加されたご父母の方々の感想

※本橋 比奈子さん(建築3年)のご両親



学年単位の懇談会は進路や就職に質問が集中。先生方が丁寧に応えてくれたのでとても分かりやすかったです。

※柳澤 貴宏君(機械システム2年)のお父さん



子供が大学でどんな勉強をしているのか、親として知っておきたかった。これで将来に向けてのアドバイスができます。

※田口 学君(環境情報4年)のお母さん



就職難の時代、大学からの情報をもとに、インターネットや雑誌などで積極的な情報を探さなくてはと痛感しました。

※和田 恭兵君(環境情報1年)のお父さん



静かなキャンパスはきれいで食事も美味しい。勉強するための環境が整っていることが良く分かりました。



平成16年度の就職動向と支援

業績回復を背景に、企業の人員採用意欲は急速に回復してきています。日本経済新聞社・日経リサーチの調べによると、主要企業の来春の新卒採用は、前年度実績と比較し、総合計で17.4%増と2ケタ増となっております。大卒に限って見ると、全体で20.1%増(理工系18.6%増、文科系14.6%増)と大幅な改善をみせており、企業側の採用意欲の高さがうかがえます。また、厚生労働省「労働経済動向調査」によると、来春の新卒者の採用予定数はすべての属性で、前年度の実績を上回っています。

企業が採用を増やす理由は、大卒理工系では「技術革新への対応・研究開発体制の充実」が圧倒的に多く、同文科系では「販売・営業部門の増強」が最も多くなっており、企業の競争力強化の源泉である「技術力・営業力」を担うコア人材の積極的な確保、という企業戦略が鮮明になっています。

とは、企業側の採用の厳選化は、ますます顕著になっています。特に、「対人コミュニケーション能力」や「ストレス耐性」、「パニックに陥らない」等、人間的な強さやエネルギーを重視し、面接に時間をかけた選考が多くなってきている印象を受けました。一言で表現するのは難しい

ですが、強いて言えば「自ら積極的に行動できるエネルギー」が、高いに求められているようです。

こうした環境下で、今年度の就職支援においては、特に「個別面談」に重点を置いて実施してまいりました。「個別面談」を実施する際には、履歴書(自己紹介書)及びエントリーシートを持参させ、自己の「強み」となる、卒論(修論)、学生時代の主な取組み、自己PRそして志望動機の項目において、「明確に」、「個性的に」根拠に基づき表現できるように指導してまいりました。また、この面談を通して、企業が一番必要としている「対人コミュニケーション能力」についても指導ができたのではないかと考えます。

早い時期からの十分な自己分析(自分の経験・考え方・価値観)、企業理解(仕事理解)が就職内定への最大のポイントでありますので、ご父母の皆様におかれましては、学生本人と進路について、早い時期から話し合っていたいただきたいと思います。なお、右ページに就職・進学活動スケジュール表を掲載しておりますので、大学主催の行事には全て参加する様にご指導頂きたく、重ねてお願い申し上げます。

平成16年度求人就職内定状況(平成16年12月1日現在)

学科・専攻	項目	就職希望者	内定者	内定率(%)	求人企業数		求人数	1人あたりの求人数	進学希望者	進学決定者
					求人企業数	1人あたりの企業数				
工学部	機械工学科	101	94	93.1	2,736	27.1	5,464	54.1	24	16
	機械システム工学科	61	58	95.1	2,649	43.4	5,326	87.3	33	18
	電気電子工学科	70	66	94.3	2,798	40.0	5,592	79.9	33	24
	電子通信工学科	84	76	90.5	2,633	31.3	5,318	63.3	32	24
	電子情報工学科	49	42	85.7	2,473	50.5	5,011	102.3	25	18
	建築学科	99	63	63.6	2,037	20.6	4,137	41.8	27	17
	土木工学科	81	63	77.8	1,911	23.6	3,883	47.9	24	9
	経営工学科	98	90	91.8	2,325	23.7	4,745	48.4	18	11
	エネルギー基礎工学科	23	16	69.6	2,392	104.0	4,913	213.6	27	16
	小計	666	568	85.3	21,954	33.0	44,389	66.7	243	153
大学院工学研究科	機械工学専攻	37	36	97.3	1,555	42.0	3,069	82.9	0	0
	機械システム工学専攻	24	24	100.0	1,538	64.1	3,041	126.7	0	0
	電気工学専攻	77	75	97.4	1,598	20.8	3,136	40.7	0	0
	建築学専攻	39	27	69.2	1,041	26.7	2,091	53.6	0	0
	都市基盤工学専攻	27	27	100.0	985	36.5	1,989	73.7	0	0
	経営工学専攻	19	16	84.2	1,314	69.2	2,649	139.4	2	0
	エネルギー量子工学専攻	26	22	84.6	1,372	52.8	2,770	106.5	0	0
	小計	249	227	91.2	9,403	37.8	18,745	75.3	2	0
	合計	915	795	86.9	31,357	34.3	63,134	69.0	245	153
	環境情報学部	環境情報学科	162	132	81.5	1,972	11.5	3,946	22.9	30
留学生		10	6	60.0						
大学院環境情報学研究科	環境情報学専攻	14	8	57.1	1,085	57.1	2,153	113.3	2	0
	留学生	5	4	80.0						

平成16年度就職内定先企業等 / 資本金順上位50社(平成16年12月1日現在) 数値は就職内定者数

工学部・大学院工学研究科			環境情報学部・大学院環境情報学研究科		
東京電力.....1	マツダ.....3	東京地下鉄.....2	NEC.....1	トステム.....1	日本トイザらス.....1
日産自動車.....1	京セラ.....1	大林組.....2	富士通.....1	日立ソフトウェア.....2	岩崎通信機.....1
トヨタ自動車.....1	大日本印刷.....3	竹中工務店.....2	日立製作所.....3	ニチレイ.....1	プラス工業.....1
NEC.....1	大和ハウス工業.....3	ハイオクア.....2	東芝.....2	トランス・コスモス.....2	NTTアドビステクノロジ.....1
日立製作所.....7	東京急行電鉄.....1	コナミ.....1	松下電器産業.....1	北越製紙.....1	日立電子サービス.....1
東芝.....2	凸版印刷.....4	オリパス.....5	積水ハウス.....1	TIS.....1	PFU.....1
三菱重工.....8	大成建設.....7	富士写真フイルム.....1	NTTデータ.....1	静岡中央銀行.....1	レッドパロン.....1
松下電器産業.....1	全日本空輸(ANA).....1	東陶機器(TOTO).....4	JR東海.....1	センコー.....1	東急エージェンシー.....1
シャープ.....2	本田技研工業.....8	トステム.....4	東京急行電鉄.....1	トッパン・フォームズ.....1	ニッセイ.....1
JR東日本.....5	鹿島建設.....1	日立ソフトウェアエンジニアリング.....3	大成建設.....1	ライプリア証券.....1	旭化成ホームズ.....1
積水ハウス.....3	清水建設.....1	日本放送協会(NHK).....1	本田技研工業.....2	山洋電気.....1	ソフトバンクBB.....1
三菱電機.....3	日野自動車.....5	さいたま市役所.....1	常陽銀行.....1	ニチロ.....1	JALウェイズ.....1
キヤノン.....8	日本通運.....2	特殊法人日本原子力研究所.....1	清水建設.....1	太陽化学.....1	日本アジア証券.....1
富士重工.....4	村田製作所.....3	川崎市役所.....1	ライフ.....1	ウツドワン.....1	ライオン事務器.....1
NTTデータ.....1	沖電気工業.....3	警察庁.....1	セコム.....2	日本システムディベロップメント.....1	佐島電機.....3
日本T・B・M.....1	いすゞ自動車.....1	国土交通省関東運輸局.....1	ニコン.....1	ミツウロコ.....1	東急リパブル.....2
スズキ.....2	石川島播磨重工業.....1		三協精機製作所.....1	タチエス.....1	

平成16年度卒業見込者に対する都道府県別求人数および就職内定者数

(平成16年12月1日現在) 都道府県名の横の数字は求人数で、()内の数字は就職内定者数を示す。但し、複数内定者で未決定者は除く。

北海道 830(5)	栃木 549(1)	石川 334(3)	滋賀 18(0)	岡山 260(0)	佐賀 20(0)
青森 182(0)	群馬 532(7)	福井 236(0)	京都 603(15)	広島 688(6)	長崎 87(0)
岩手 131(0)	埼玉 1,882(20)	山梨 357(6)	大阪 3,742(39)	山口 96(1)	熊本 72(0)
宮城 363(0)	千葉 1,220(6)	長野 1,172(10)	兵庫 511(2)	徳島 72(0)	大分 129(0)
秋田 156(0)	東京 39,666(582)	岐阜 295(0)	奈良 100(0)	香川 175(1)	宮崎 48(1)
山形 280(0)	神奈川 6,364(96)	静岡 1,536(19)	和歌山 148(1)	愛媛 242(0)	鹿児島 114(1)
福島 462(1)	新潟 546(2)	愛知 2,919(19)	鳥取 0(0)	高知 111(0)	沖縄 36(0)
茨城 681(5)	富山 252(5)	三重 311(2)	島根 120(0)	福岡 585(6)	海外 0(0)



就職・進学活動スケジュール

工学部

全学年対象	3年生(進路についてより具体的に考える)	4年生(就職・進学活動の本番です)
8月 初級シスアド5日間集中講座 基本情報処理7日間集中講座 11月 公務員ガイダンスおよび講座説明 12月 公務員試験受験対策講座 12~6月 公務員試験模試(各月1回)	4月 進学予定者対象の進学説明会 図書館などで大学院の各専攻内容や 入試問題等を検討 7月 リクルート就職講演会 他大学または留学先より資料を取り寄せ 情報収集活動開始 8月 インターンシップ等に積極的に参加 10月 各学科就職ガイダンス(第1回) リターン就職ガイダンス 就職講演会(就職活動全般) " (自己分析) " (業界研究) " (エントリーシート・論作文) 適性検査(職業適性・情報処理適性) 11月~ 就職試験対策(SPI・論作文) 自己分析・筆記試験対策 12月 業界・企業研究、エントリー 公務員試験対策集中講座 公務員試験模試(6月まで各月1回) 1月 各学科就職ガイダンス(第2回) 2月 就職試験対策(一般常識・SPI・履歴書) " (模擬面接) 公開模擬面接 学内企業研究会 国家公務員採用試験申込書入手 3月 就職試験対策(一般常識・SPI) 学内企業研究会	4月 各学科就職ガイダンス(第3回) 就職試験対策(模擬面接) 学内での希望調査及び推薦者決定 進学予定者対象の進学説明会 指導教授と相談の上、進学先の検討 国家公務員採用試験申込書提出 地方公務員採用試験申込書入手 4~6月 採用試験(3月から開始の企業あり) 採用内々定 地方公務員採用試験申込書提出 5月 推薦入学募集要項入手・願書提出 国家公務員採用試験(1次) 6月 推薦入学試験 国家公務員採用試験(2次) 官庁訪問(国家公務員) 地方公務員採用試験(1次) 7月 採用内々定(国家公務員) 7~8月 地方公務員採用試験(2次) 8月 第1次試験学生募集要項入手・願書提出 地方公務員採用試験合格発表 (翌年1月頃までに内定) 9月 第1次入学試験 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続 1月 第2次試験学生募集要項入手・願書提出 2月 第2次入学試験 3月 卒業式
1・2年生(進路・勉強方法を考える) 4月 自己発見レポート(1年生) 自己プログレスレポート (2年生) 5月 自己発見レポートフォロー ガイダンス 自己プログレスフォロー ガイダンス 就職講演会 8月 インターンシップ等に積極的に 参加		

自己の適性に基いて家庭で協議

環境情報学部

全学年対象	3年生(進路についてより具体的に考える)	4年生(就職・進学活動の本番です)
5~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 8月 初級シスアド集中講座(5日間) 基本情報処理集中講座(7日間) TOEICテストスコアアップ講座(7日間) 9月 SPI対策講座(2日間) 公務員・SPI対策講座(11日間)	4月 図書館などで大学院の各専攻内容や 入試問題等を検討 就職準備ガイダンス 職業適性検査 就職講演会(オープニングセミナー) 就職講演会(職業観) 就職講演会(自己分析) 就職講演会(エントリーシート・論作文) 5月 職業適性検査(キャリアフォーカス) 就職実践検試(スタート) 公務員試験対策ガイダンス インターンシップガイダンス ES攻略テスト 就職講演会(リクナビ) 6月 就職講演会(業界研究) 就職講演会(職種事例研究) 学内業界研究会 (全9回・各業界代表的企業約20社を招聘) 7月 OB座談会~社会人からのアドバイス 就職準備ガイダンス エントリーシート攻略テストフォローガイダンス 8月 インターンシップ等に積極的に参加 9月 就職準備ガイダンス 就職講演会(就活準備) 文章力養成講座(全4回) 9~10月 進路希望面談(3年生全員対象) 10月 就職体験報告会(4年生体験談) 就職準備ガイダンス 10~11月 学内業界研究会(各業界代表的企業約20社を招聘) 12月 筆記試験模試・対策セミナー 面接対策セミナー グループディスカッションセミナー グループディスカッション演習 1月 就職講演会(総括) 2月 就職直前ガイダンス 横浜キャンパス学内企業研究会 (代表的企業約80社を招聘) 模擬面接講座(全5回) 国家公務員採用試験申込書入手 3月 世田谷キャンパス学内企業研究会 (代表的企業約120社を招聘)	4月 就職ガイダンス(求人状況・活動心得等) 学内での希望調査及び推薦者決定 指導教授と相談の上、進学先の検討 国家公務員採用試験申込書提出 地方公務員採用試験申込書入手 2~5月 採用試験(年内から開始の企業あり) 採用内々定 地方公務員採用試験申込書提出 5月 就職ガイダンス(活動アドバイス) 学内企業研究会 推薦入学募集要項入手・願書提出 国家公務員採用試験(1次) 6月 推薦入学試験 国家公務員採用試験(2次) 官庁訪問(国家公務員) 地方公務員採用試験(1次) 7月 採用内々定(国家公務員) 7~8月 地方公務員採用試験(2次) 8月 第1次試験学生募集要項入手・願書提出 地方公務員採用試験合格発表 (翌年1月頃までに内定) 9月 第1次入学試験 10月 採用内定 学内での採用内定報告手続 1月 第2次試験学生募集要項入手・願書提出 2月 第2次入学試験 3月 卒業式
1・2年生(進路・勉強方法を考える) 4月 自己発見レポート(1年生) 自己プログレスレポート (2年生) 5月 自己発見レポートフォロー ガイダンス 自己プログレスフォロー ガイダンス 8月 インターンシップ等に積極的に 参加 10月 就職講演会		

自己の適性に基いて家庭で協議

就職希望者(民間企業希望者、公務員希望者)、本学大学院進学希望者、他大学大学院進学希望者(留学含む)

絵で見る キャンパス SPOT ⑪

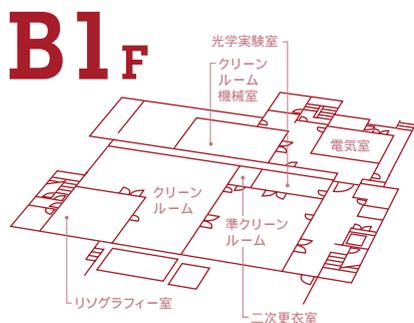
等々力キャンパス 総合研究所の巻



本学の研究をさらに深化させるべく『総合研究所』が完成。2004年4月24日には開所式が行われました。施設の規模は、地下1階地上4階、延床面積3700㎡あまり。現在、「シリコンナノ科学研究センター」と「エネルギー環境科学研究センター」の2つの研究が進められています。前者は情報化社会を根底から支える半導体やシリコンの研究開発に、後者は燃料電池などクリーンエネルギーや、環境汚染物質を取り除く光触媒など地球環境に直結した問題に取り組めます。いずれも文部科学省から「国を挙げて推進すべき優れた研究テーマ」に認定されたプロジェクト。技術立国日本の未来を左右する重要な研究がここ総合研究所で日夜続けられているのです。今回は、日頃なじみの少ない“研究”の一端をご覧ください。



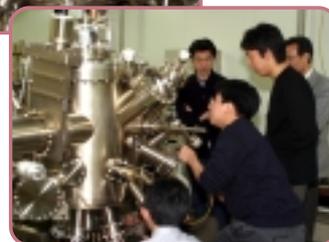
地下1階には、より精度の高い研究を行うため、塵や埃を完璧にシャットアウトする大規模なクリーンルームを設置。分子線エビタキシー装置や、電子線描画装置、イオン打込み装置など、最先端の機材も導入されました。ここでは主に、ナノ(1ナノメートル=10億分の1メートル)という超微細なレベルで、半導体の基幹材料であるシリコンの研究・開発が行われています。



髪の毛一本落とすことも許されないクリーンルーム。入る前には、専用のクリーンウェアに着替えます。



より高性能なデバイスを開発するためには、極めて真空度の高い状態で結晶を作製する必要があります。この「シリコン系分子線エビタキシー装置」は原子レベルで結晶をコントロールできる最先端の装置です。



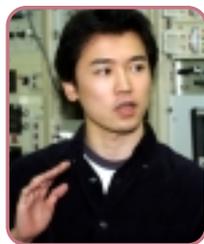
電子機器の中核となるトランジスタは、半導体への不純物導入が必須。この「イオン注入装置(写真奥のブルーカバーの装置)」は、高電圧で加速されたイオンを半導体に打ち込みます。



「電子線描画装置」。最新のトランジスタは大きさがなんと0.1μm以下。その作成には極微の線を描く必要がありますが、この装置を使えば、ナノメートルの精度でさまざまなパターンを描くことができるのです。



「描画装置は温度が1度上がっただけで線が歪んでしまう。温度管理も大変です」と、技術員の大竹省自さん。でも「これほどの設備は日本有数。みなさんも誇りを持って下さい」となんだか嬉しそう。



案内してくれた阿部泰宏さん(工学研究科電気工学専攻1年)と、田中祐馬さん(電気電子4年)は口を揃えて「世界初の革新的技術を生み出したい」と熱っぽく語ってくれました。



貸研究室で産学共同を推進!

「シリコンナノ科学研究センター」と「エネルギー環境科学研究センター」の2大研究プロジェクトの他に、総合研究所が推進しているのが「産学共同」。このため、「共同研究支援貸研究室」を用意して、広く学内外からの研究者に利用を呼びかけています。優秀な研究者がたくさん集まることで、総合研究所だけでなく、大学全体の研究活動が活性化することでしょう。



所内・事務室で総合研究所のほとんどの事務作業を一人でこなす事務職員の徳植久子さん。担当の先生や学生など研究所スタッフにはセキュリティカードが貸与されますが、他の学部学生や来訪者の方々の入所についてはここで管理しています。セキュリティ体制は万全。「みなさんルールを守って、研究施設はきれいに使ってくださいね」

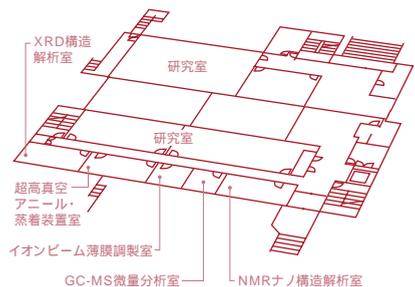


全員が放射線測定器を着用!?

総合研究所には、放射線を用いる機材があるので、研究所スタッフや学生はこの放射線測定器の携帯が義務づけられています。放射線値が一定のレベルを超えると警告が出ます。とはいえ、これは万が一の用心のため。病院に勤務する医療関係者も行っている措置なのです。



さまざまな物質の組成を解析するための「XRD構造解析室」。エネルギー変換材料科学研究所の学生たちがこの先端機器を巧みに操作していました。



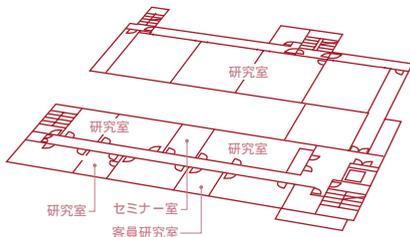
エネルギー環境科学研究センターが取り組むテーマのひとつが、燃料電池の開発。この「核磁気共鳴装置AVANCE400システム」は、燃料電池を構成する電解質膜や電極触媒、半導体や増感剤などの構造を解明するために役立ちます。



「ガスクロマトグラフ質量分析計Turbo Mass Gold」。燃料電池の電極で起こる反応や、光触媒で有害物質を分解するとき生じる特定のガスを精密に分析できる装置です。電池の性能向上や、最適な触媒の製造を手助けします。

1F

1階には所長・事務室、管理室、研究室のほか、XRD構造解析室など最新の施設・設備が設けられ、主にエネルギー環境科学開発分野の研究が進められています。



2F

研究室や客員教授室が連なる2階。研究をリードする先生方はもちろん、研究生や学部学生たちが一丸となって、1日も早い成果達成に向けて努力を続けています。

お邪魔したのはエネルギー変換材料科学研究所。環境に優しい次世代エネルギーの開発に力を注いでいます。さすがは最先端の研究所、「広くてきれいな」が自慢です。



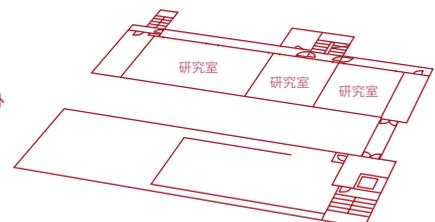
左から同研究室の4年・松田宗広さん、初山大さん、陣内貴恵さん。松田さんは光触媒の材料を作成中。最先端研究の裏側には、こうした地道な作業が必要なのです。「徹夜で実験になることもあるので、シャワールームがあると嬉しいですね」(初山さん)。陣内さんは「食堂や売店もあったらいいな」



総合研究所内には、障害者にも優しいユニバーサルデザインのトイレが設置されています。

3F

3階には3つの研究室のほか、屋外機械が設置されています。





クラブ活動紹介 22



アカペラによる合唱の素晴らしさを再確認させてくれる世田谷キャンパスの合唱団「グリークラブ」と、
横浜キャンパス内の保存緑地の一部を整備・管理している「Eco-Works」。
今回はこの両団体の活動状況をレポートします。

体育会系顔負けの練習量！音痴でも歌が好きなら絶対上達する

グリークラブ



顧問：増澤信義(電子通信工学科教員)
学生責任者：青柳雄介(機械工学科2年)
部員数：12名(うち女子3名)

主な活動

- 4月 入学式出演 / 新入生歓迎会
- 5月 文化団体連合フェスティバル
- 7月 前期納会
- 9月 夏合宿
- 11月 MI-TECH祭
- 12月 横浜キャンパス チャリティーコンサート / 品川区合唱祭 / 世田谷区合唱祭

▲平成16年10月16日に行われた
創立75周年記念式典ではOBとともに校歌を斉唱

部員数激減による存続の 危機を乗り越え、再び活発に 動き始めた新世代合唱部

グリークラブの“グリー”とは、本来は男性による無伴奏合唱のこと。ただし現在の武蔵工大グリークラブは、男性だけの団体ではなく、女性も含めた混声合唱団。部が創立した頃の武蔵工大は男子学生が圧倒的に多かったためこの名称が用いられたそうです。じつは他大学の歴史ある合唱部や合唱サークルなどにも、この名称はよく見られます。「グリークラブの歴史は約50年。先輩から聞くところによると、武蔵工大の中では自動車部に次いで古いそうです。現在、団体の実態とグリーという名称とが一致しませんが、先輩たちが守り抜いてきた名称ですから、おいそれと変えるわけにはいかないですね」(青柳雄介くん・部長)

長い歴史のすべてが順風満帆というわけではなく、団体としてかなり激しい浮き沈みを経験しているよう。60人以上の大所帯だった時代もあるかと思えば、たった4人の部員しかおらず存続が危ぶまれた時期も……。「部員が多かったのは、日本の若者たちの間で、合唱がちょっとしたブームだった時期。今まで2回くらいあったみたいですね。そういった時期はどこの合唱部も盛況だった模様。どこ

の合唱団体も縮小傾向にある現在からは、ちょっと想像できませんが、いま私たちはフルメンバーで12人。全盛期には及びませんが、少しずつ盛り返してきたところでしょうかね」(坂本千尋さん・学生指揮者)

数年前にテレビの某バラエティ番組で、全国の高校生チーム同士がアカペラによるハーモニーの美しさを競うコーナーが大人気を博しました。番組から実際にプロデビューを果たしたチームも生まれたほどです。「あの番組やカラオケの影響で、合唱すること、“ハモる”ことに興味をもった人は増えているはず。実際ボクもそうでした。高校時代まではスポーツ一筋だったのに、なぜか気が付いたらここに入っていたから。今は我がクラブが大きく躍進するチャンスなのかもしれないね」(高須俊之介くん)



いつも冷静沈着。大地が避けようとも動かない(?)中島新くん(電子情報3年)はベース担当



練習を取り仕切る学生指揮者の坂本千尋さん(機械2年)。同部のムードメーカーです。合唱ではソプラノ担当



📌 グリークラブの普段の練習は放課後の教室で行われます。

📌 練習を取り仕切っているのは学生指揮者の坂本さんです。



📌 もとは初心者ばかりというのが信じられないほど、美しいハーモニーを聞かせてくれました。

📌 プロの指揮者やボイストレーナーの本格的な指導を受けつつ、さまざまなジャンルに積極的に挑戦

他の大学の合唱部では、定期コンサートを毎年の恒例行事として行っているものですが、武蔵工大グリークラブの場合、部員数の減少などもあり、ここ数年は休止中。とはいえ、年間の活動内容は非常に充実しており、合唱の舞台も多く用意されています。「自分たちで企画するコンサートはないものの、“本番”はいっぱいあるんです。新入生歓迎会で歌を披露したり、品川区や世田谷区が主催する合唱祭に参加したり、横浜キャンパスで行われるチャリティーコンサートに出演したり……とくに今年は武蔵工大の創立75周年式典で校歌を合唱する役目をいただき、例年にもまして忙しかったです」(青柳くん)

練習内容もなかなかハード。月、水、金に3時間ずつ、“学生指揮者”である坂本さんを中心にみっちり練習を行い、ときにはあまりにも熱心になりすぎて校舎施設時間の20時を超えてしまい、警備員さんに怒られてしまうことも。「それだけやってるから全員が確実に上達する。ボクもそうでしたが、楽譜が読めないくらいの音楽初心者であっても、必ず歌がうまくなります!」(佐藤俊介くん)。また学外の指揮者やボイストレーナーの方に定期的に指導を受ける機会を設けているのも武蔵工大グリークラブの大きな特徴です。「指揮者やボイストレーナーの先生は我が部とはずいぶん長いつきあいで、よく面倒を見てくださり助かっています。」(坂本さん)

彼らが歌うジャンルはと言えば、これが非常に多岐に渡っています。クラシックから黒人霊歌、イタリア歌曲、日本の童謡や愛唱歌、Jポップ

までと、さまざまな分野に挑戦。むろん日本語や英語の歌詞ばかりでなく、イタリア語、ドイツ語、さらには古典英語まで手がけることがあるそうです。「たくさんの人に合唱の楽しさを知ってもらうためにも、今後はヒット中の曲やメジャーな曲をもっと積極的に取り入れるべきかも。みんなが知ってる曲も、アカペラのハーモニーだと、また違う素晴らしさが出てきますから」(中島新くん)

最期に今後の抱負を部長の青柳さんに語っていただきました。「大所帯だったときのように、大きなホールを使って行うことはできないでしょうが、キャバの小さいところを借りてもっとみんなに気軽に楽しんでもらえるコンサートを開いてもいいね、なんて話しているところです。あとは、とにかくたくさんの人たちに入部していただき、合唱の楽しさを一緒に味わってもらいたい。」「歌は好きだけど、下手だから人前で歌うことは恥ずかしい」なんていう人は多いものですよ。これはボクたちの経験上はつきり言えますが、歌っていれば誰もが絶対うまくなります。音痴な人は、ただ今まで歌ってこなかっただけなんです」

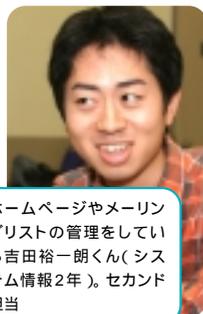
練習がハードなあまり、アルバイトがあまりできないという共通の悩みを持っている武蔵工大グリークラブの面々ですが、そのキャンパスライフはとても充実していることがうかがえた今回の取材。これからもその美しいハーモニーで武蔵工大の各種イベントを盛り上げてください。



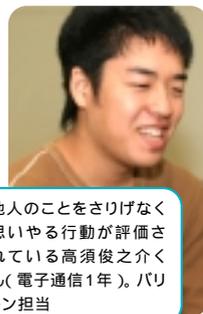
「だって一人じゃハモれないじゃないですか」と入部の動機を語ってくれた吉川梢さん(環境エネルギー1年)。ソプラノ担当



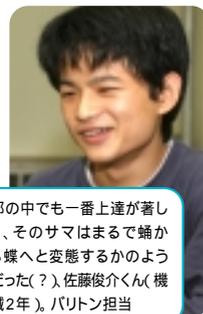
日々筋トレをかかさず、肉体的に励む青柳雄介くん(機械2年)。しっかり者の性格が買われて部長を任されています。セカンド担当



ホームページやメールリストの管理をしている吉田裕一朗くん(システム情報2年)。セカンド担当



他人のことをさりげなく思いやる行動が評価されている高須俊之介くん(電子通信1年)。バリトン担当



部の中でも一番上達著しく、そのサマはまるで蝶から蝶へと変態するかのようだった(?)佐藤俊介くん(機械2年)。バリトン担当



横浜キャンパス周辺の保存緑地は私たちが守る

Eco - Works



📍 秋の一斉間伐にて。参加者とメンバーで記念の一枚。右下は竹を使って焼くバームクーヘン。大好評!

顧問：吉崎真司(環境情報学科教員)
学生責任者：永島萌(環境情報学科2年)
部員数：51名(うち女子12名)

主な活動

- 4月 春の筍掘り
- 6月 MI-TECH横浜祭
- 8月 炭焼き合宿
- 10月 秋の一斉間伐
- 11月 MI-TECH祭
- 3月 炭焼き合宿



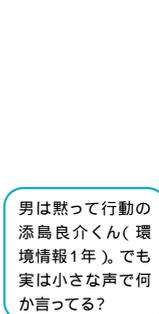
📍 竹林の整備は重労働だけど、自然や季節の移ろいを肌で感じることができる

環境情報学部のある横浜キャンパス周辺は、地元行政によって「保存緑地地域」に指定されているほど自然が色濃く残っています。Eco-Worksは、キャンパス内にある保存緑地の一部を整備・管理している団体。環境情報学部が設立された翌年に発足されました。「キャンパス内の保存緑地は約1.7ヘクタールあり、そのうちの0.5ヘクタールを私たちが管理しています。さまざまな樹木が生えている雑木林ですが、一番多く生い茂っているのは竹。キャンパスのある場所は昔から地元では有名な竹林地帯だったようですね。活動日は第2・第4土曜日と、第1・第3水曜日。ミーティングの他に、実際に保

存緑地の中に入って整備活動を行っており、土曜日には朝10時から夕方4時まで、自然の中でみっちり汗を流すことが多いです。かなりの肉体労働ですが、他では味わえない充実感が得られます。(永島萌さん・部長)。またEco-Worksは、環境NPO法人である「港北ニュータウン緑の会」にも参加しています。同会の活動目的のひとつに、「港北ニュータウンに旧来からある緑の資源を、美しい緑道や遊歩道で相互に結び、ネットワーク化する」というものがありますが、これはEco-Worksの活動内容ともまさしく合致するもの。つまり彼らは自然を愛する地元の方にとっても、非常に頼もしい存在なのです。



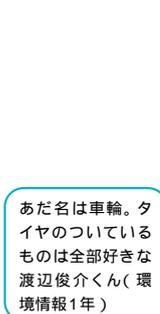
いつも冷静。しかし軽く毒舌。会の中ではツッコミ役(?)の金沢一穂くん(環境情報1年)



男は黙って行動の添島良介くん(環境情報1年)。でも実は小さな声で何か言ってる?



いつも話題の提供者。リーダーシップはピカイチな米山裕紀くん(環境情報1年)



あだ名は車輪。タイヤのついているものは全部好きな渡辺俊介くん(環境情報1年)



森下元美子さん(環境情報1年)が一番参加率が高い1年女子。その積極的な働きぶりにはみんなのお手本



▲ Eco-Worksで一番の地域密着イベント・筍掘り。採れたての筍で作った若竹汁も人気。



▲ 大学生が地域の子供たちに自然に触れる機会を提供できるのはとても意義のあること。

大学と共催する筍掘りは 地域の方々にも毎年大好評

Eco-Worksの年間活動には、地域の方々と一緒に整備活動を行う2つの大きなイベントがあります。ともにキャンパス内の保存緑地で行われる「春の筍掘り」(4月)と「秋の一斉間伐」(10月)がそれ。竹林を適度な密度に戻し拡大を防止するため、さらには良好な植生景観を作り出すための重要な作業です。特に春の筍掘りは、開催回数を重ねるごとに一般の参加者数も増えており、現在に至っては500人近くにもなるほど大盛況。「そんなに筍あるの?」と思いますか?ご心配なく!それだけ大勢の方が一斉に掘っても一人当たり2、3本の筍をお持ち帰りいただけます。当日は採れたて新鮮な筍を使った手作りのすまし汁「若竹汁」が参加者全員にふるまわれています。おみやげの筍と合わせて大変好評で、現在では季節行事として地域の方々に着実に根付いているようです。

一方、10月に開催される「秋の一斉間伐」は地域の方々と一緒に竹の間伐を行うイベント。「筍掘り」と比べると地味なイベントですが、緑地の整備活動を通じて、子供たちを始めとした地域の方々と学生が交流するということも重要な目的の一つなんです(米山裕紀くん)。そこで行われているバームクーヘン作りも大変人気があり、切った竹に生地を塗りつけて目の前で焼くバームクーヘンに子供たちも興味津々!

伐採された竹は、Eco-Worksによって立派な竹炭へと生まれ変わります。これを行うのが炭焼き合宿。様々な大学の学生が合宿などに利用している八王子大学セミナーハウスには、先輩たちによって作られた手作りのドラム缶を使用した炭焼き窯があり、その場所

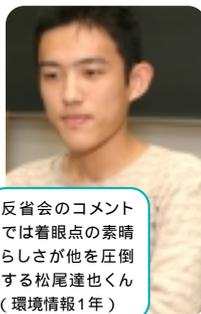
で春と夏の2回、3泊4日をかけて竹炭を作ります。「日中は炭材を窯に詰めたり、焚き付け用の薪を集めるためにたっぷりと汗を流し、夜は夜で、メンバーが夜通し交代で窯の番をしなくちゃいけないんです」(市川誠之くん)

そんな苦勞の甲斐あって、彼らの作る竹炭は、MI-TECH横浜祭ではかなりの人気商品に。抗菌、消臭、防虫の高い効果で最近注目を浴びている竹炭ですが、それが学祭ならではの破格値(300g入りで200円ほど)とあって、地域の方々の中にはリピーターも多いそうです。「横浜祭では竹炭を作る工程で採れる“竹酢液”も販売しています。樹木の栄養吸収を助けたり、防虫効果が高かったりとさまざまな効果があり、こちらも相場と比べてかなり安いのでは」(森下元美子さん)。彼らの汗の結晶である竹炭、竹酢液で得たお金は、Eco-Worksの大切な活動費になっているそうです。会費をとくに徴収せずに運営しているだけに、ここでの売り上げはとても重要なのです。

最後に、部長の永島さんに今後の同会の将来展望について聞いていただきました。「やっていることが大変なので、まず何より継続していくことが一番大事。その上で自然保護に対する勉強会などもっと積極的にやっていたらいいですね。ここでの活動を活かし、将来、森林インストラクターなどの道に進む人が出てきたら最高です」環境情報学部にもふさわしいサークルと言えばこれ以上の存在はなく、21世紀のエコキャンパスを標榜する横浜キャンパスならではの団体とも言えるEco-Works。今後も充実した活動を行い、サークルとしてますます発展してくれることを期待しましょう。



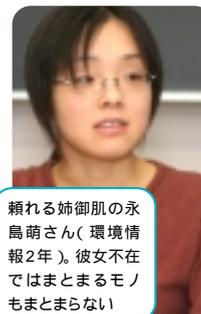
マイベスな山本卓郎くん(情報メディア1年)。いつも早く帰りがたがるけど、結局最後まで残ってる責任感ある男



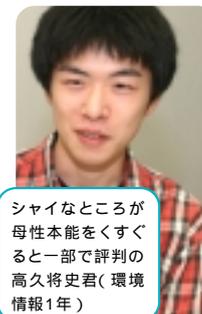
反省会のコメントでは着眼点の素晴らしさが他を圧倒する松尾達也くん(環境情報1年)



Eco-Worksイチの行動派。マラソンで一番先頭を走るタイプの市川誠之くん(環境情報1年)



頼れる姉御肌の永島萌さん(環境情報2年)。彼女不在ではまとまるモノもまとまらない



シャイなところが母性本能をくすぐると一部で評判の高久将史君(環境情報1年)

★ Campus Topics .. ★ ★ ★ ★ ★ .. ★ ★ ★ ★

..... 武蔵工業大学創立75周年記念

★ 創立75周年に思う -- 未来への継続 --

武蔵工業大学 後援会
平成12・13年度会長 中山安男

武蔵工業大学創立75周年おめでとうございます。
平成16年10月16日、創立75周年を祝う式典が開催され、小杉元文部大臣をはじめ、多数の来賓の方が出席されました。祝賀会では、75年の歴史の思い出話をかたる輪がいくつもあり、尽きることない会話が弾んでいました。また町内会の皆さんも和太鼓演奏などを披露し祝っていただきました。

武蔵工業大学は、1929年、前身である「武蔵高等工科専門学校」として設立され、設立時の苦難、敗戦による荒廃等幾多の試練を乗り越えて今日に至っているとのこと。

教育は国家100年の大計と言われるように、国家の発展と繁栄の基礎となります。日本が経済大国と言われるまでには、工業の発達無くしてはあり得なかったと思います。武蔵工業大学の卒業生の産業界での活躍と実績により、戦後の復興、その後の日本の繁栄があったと思います。そして、本年、創立75周年を迎えることができたのも、卒業生はもとより、五島育英会、教職員、後援会の方々の教育に対する熱い理想と献身も忘れてはなりません。

物も情報もあふれ過ぎて、目的が見えづらくなっている時代です。学生の皆さんの中には、日々地味な研究をつづけていることに疑問を持つ時もあるかと思います。壁が立ちただけ、困難に遭遇し、くじけそうになることもあるでしょう。しかし何事も続ける過程の克服が人生における強みとなります。武蔵工業大学で学び研究をつづける皆さん

には、自身の可能性を信じて挑戦し続けて欲しいと願っています。

私達も大人として、学生を辛抱強く見守り、支え、励ましていく努力をし続けなければならないと思います。継続なくして未来はありません。武蔵工業大学が創立100周年に向かってさらなる前進を続けられることを願っています。



★ 櫻井よしこさんによる創立75周年記念事業 記念講演会開催 記念講演会部会 幹事 大庭稔尚



武蔵工業大学創立75周年記念事業の一環として、2年間に渡り全国10都市で開催されてきた創立75周年記念講演会ですが、その締めくくりとして最後の記念講演会が創立記念日を間近に控えた平成16年10月13日(水)13時30分より世田谷キャンパス6B2教室において開催されました。

講師には長い間テレビのニュースキャスターとして活躍され、その後ジャーナリストに転身し、数多くの著書を出版されている櫻井よしこ

さんをお招きして、「日本ルネッサンス～明日への希望～」をテーマに国際社会の中での日本の過去・現在・将来について「頭と心」をキーワードにいろいろなエピソードを織り交ぜながらお話しいただきました。

その内容は国際的にも活躍されている櫻井さんらしく外国のいくつかの具体的な事例を挙げ、非常にわかりやすく語っていただき、会場いっぱい詰めかけた本学学生や教職員をはじめ近隣住民の方々も、櫻井さんの講演に熱心に耳を傾け、10月中旬だというのに会場内は汗ばむほどの熱気に包まれる盛況ぶりでした。

★ 「なんでも測定団が行く」講談社から発行

創立75周年記念事業行事委員会 出版部会長 小林光一

武蔵工業大学創立75周年記念事業行事委員会の出版部会では、平成13年10月より記念出版物の刊行について企画・編集作業を進めてきたが、平成16年8月20日、講談社ブルーバックスシリーズの1冊として、「なんでも測定団が行く - はかれるものはなんでもはかる - 武蔵工業大学編」というタイトルの単行本を刊行した。この本は諸学の基本となる「はかる」ことを主題に、本学の工学部および環境情報学部の教職員がそれぞれの専門分野を生かした50の話題を共作したものである。編集方針は肩のこらない平易な内容で社会のいろいろな事象の測定法を解説したもので、読者諸氏の知的好奇心を刺激し、その上、武蔵工業大学の知名度を向上できればとのネライがある。全学の約50名の教職員のボランティアのご努

力とご尽力の結果、本単行本を上梓することができた。この単行本中のイラストは本学建築学科4年の石綿桂さんが描いてくれた。また、学内配布用の帯のデザインは本学大学院建築学専攻修士2年片淵有生君が作成してくれた。このようにこの出版物は本学の総力を挙げて刊行したものといえる。

最後に、この本は本学後援会の多大なるご支援のもとに、本学に籍を置く学部学生および大学院生にも配布された。この場をおかりして後援会の皆様へ深く感謝申し上げます。



..... MI-TECH 祭

★ 記念すべき第75回MI TECH祭

第75回MI-TECH祭実行委員会 委員長
八木 のぞみ(電子通信工学科2年)



平成16年11月21日～23日の3日間、世田谷キャンパスにおいて「so」というテーマの下、第75回MI TECH祭が開催されました。このテーマには今年度75周年という節目の年を迎え、全学生が総力を集め、75周年に相応した壮大なる学園祭を創造していきたい、また皆が思いつく様々な意味を含め、学園祭を作り上げていこうという意味が込められています。

初日の開催式が行われると、学内に活気あふれる学園祭が始まりました。アリーナにて「鈴木亜美ライブ」が行われ、約1000人がアミーゴの歌声に酔いしれました。また「ザ・クイズ」、毎年恒例の「DJフェスティバル」、「Jazz Festival」、「御神輿」は大変盛り上がりました。

2日目は平日ということもあり、一般の方のご来場は少なめでしたが、学内生を中心とした盛り上がりが見られました。メインステージでは演武会などの様々な企画が行われ多くの人の笑い声があふれていました。また、メインステージでは12バンドが30kgの米をかけてア

リーナ中にその歌声を響かせた「バンド大会」が行われました。

3日目は祝日ということで、多くの一般の方にもご来場いただきました。体育会アトラクションや吹奏楽団演奏会が行われ、武蔵工業大学の静と動の姿を多くの方に知っていただけたと思います。また後夜祭は、お笑いライブ、75ピンゴ、アイドルライブの3部構成で行われ、残りわずかの学園祭を思う存分楽しんでいました。

3日間天候にも恵まれ、今年度は学食や研究室において、研究室の発表が行われ受験を考えている高校生や父母の方々にご好評をいただきました。また、サクラガーデンを休憩場所として利用し、如学会、写真部、航空研究会の方々による展示が行われました。

3日間を通し、私達MI TECH祭実行委員会は新たな企画、展示を実施してきました。まだまだ、反省点、改善点などがありますが、次の第76回、また第80回につないでいけるよう挑戦していきたいと思ひます。

平成16年度緊急奨学金 平成16年度緊急奨学生として2名が採用されました。

課外活動短評

- 航空研究部 —— 第28回鳥人間コンテストへの出場を果たした。
- サイクリング部 —— 2004シリーズ AJINOMOTO アミノバイタルCUP第5戦において、小松克臣君(都市基盤1年)・北條嵩君(機械1年)ペアが、2時間エンデューロ エキスパートクラスで優勝を果たした。
- ラグビー部 —— 昨年に引き続き、全国地区対抗ラグビーフットボール大会予選において優勝し、全国地区対抗大会への10年連続15回目の出場権を獲得した。
- 準硬式野球部 —— 新開東大学準硬式野球春季リーグ戦(2部リーグ)において優勝を果たした。また、川原崎徹君(機械2年)が、2部リーグ最優秀投手、落合康君(都市基盤2年)が最優秀選手となった。

- 陸上競技部 —— 横浜市民選手権において、鈴木智也君(情報メディア2年)が400mで3位入賞を果たした。
- ゴルフ部 —— 平成16年度開東大学秋季Eブロック対抗戦において優勝し、Dブロック昇格を果たした。また、岸田知之君(通信4年)が最優秀選手となった。
- ゼフィルススキー同好会 —— SIG大会において、渡辺友章君(エネルギー3年)が、新人戦全種目優勝を果たした。

◆◆ 平成16年度 ◆ 「大学と父母との連絡会」実施結果 ◆◆

平成16年度の「大学と父母との連絡会」は7月17日(土)沖縄の那覇市を皮切りに、9月25日(土)の東京・横浜地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月11日(土)	京王プラザホテル札幌	8
盛岡	9月11日(土)	ホテルルイズ	11
仙台	9月12日(日)	ホテル仙台プラザ	23
郡山	9月11日(土)	ホテルハマツ	18
宇都宮	9月12日(日)	関東チサンホテル宇都宮	38
水戸	9月11日(土)	三の丸ホテル	25
東京	9月25日(土)	武蔵工業大学 世田谷キャンパス	413
横浜	9月25日(土)	武蔵工業大学 横浜キャンパス	163
高崎	9月12日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	9
新潟	9月11日(土)	ホテルイタリア軒	17
甲府	9月 4日(土)	ホテル談露館	28
長野	9月12日(日)	ホテル国際21	14
松本	9月11日(土)	松本グリーンホテル	4
三島	9月 4日(土)	三島グランドホテル	35
静岡	9月 5日(日)	ホテルアソシア静岡ターミナル	56
浜松	9月 4日(土)	オークラアクトシティホテル浜松	32
富山	9月 5日(日)	名鉄トヤマホテル	13
金沢	9月 4日(土)	金沢都ホテル	12
名古屋	9月12日(日)	名古屋国際ホテル	15
京都	9月11日(土)	京都ロイヤルホテル	10
徳島	9月 5日(日)	阿波観光ホテル	6
高知	9月 4日(土)	ホテルサンルート高知	6
広島	9月 4日(土)	リーガロイヤルホテル広島	8
福岡	9月 5日(日)	ホテルセントラーザ博多	19
宮崎	9月 4日(土)	ホテルJALシティ宮崎	10
那覇	7月17日(土)	ホテル西武オリオン	3
合 計			996

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	8	10
青森	2	1
岩手	6	3
宮城	16	11
秋田	5	4
山形	4	5
福島	24	22
茨城	34	25
栃木	40	34
群馬	11	19
埼玉	41	57
千葉	37	45
東京	176	211
神奈川	289	301
新潟	20	20
富山	14	18
石川	11	13
福井	2	1
山梨	28	32
長野	19	33
岐阜	4	4
静岡	129	126
愛知	10	16
三重	2	3
滋賀	2	2
京都	4	4
大阪	2	1
兵庫	1	2
奈良	0	0
和歌山	0	0
鳥取	0	0
島根	1	1
岡山	0	1
広島	7	8
山口	1	3
徳島	5	1
香川	1	1
愛媛	2	6
高知	5	9
福岡	12	14
佐賀	1	4
長崎	3	4
熊本	0	0
大分	3	3
宮崎	9	2
鹿児島	2	8
沖縄	3	8
その他	0	0
合計	996	1096